

項目		説明
試料・情報の利 用目的 及び 利用方法	研究課題名	免疫チェックポイント阻害療法を受けた非小細胞肺癌患者の観察研究
	研究目的	現在、本邦においては、非小細胞肺癌に対する新たな治療法として、キイトルーダなどの免疫チェックポイント阻害剤が承認され、使用されています。しかしながら大きな期待の一方で、薬剤が極めて高価であることや、どのような患者さんに有効なのか、どのような有害事象が生じるのか、必ずしも明らかになっていないことが大きな課題となっています。したがって、本研究では、日本肺癌学会が主体となり、全国におけるキイトルーダによる治療を開始され、市販直後調査にて治療情報を登録された非小細胞肺癌患者さんについて、様々な診療情報を集め、実際の臨床における治療効果,有害事象,治療期間,生存期間等の実態を把握するとともに、治療効果を予測できる因子について解析することを目的としています。
	研究対象者	2017年2月1日より2017年6月30日までの間に、当院呼吸器内科にて非小細胞肺癌の治療のため入院または通院し、キイトルーダによる治療を開始され、市販直後調査にて治療情報を登録された非小細胞肺癌患者
	研究期間	西暦 2020年4月27日～西暦 2022年3月31日
利用する試料・情報の項目 (チェック[X]が入った項目を利用します)		<input type="checkbox"/> 血液 <input type="checkbox"/> だ液 <input checked="" type="checkbox"/> 臨床検査データ <input type="checkbox"/> 病理組織 <input type="checkbox"/> 排泄物(尿・便) <input checked="" type="checkbox"/> その他(記載して下さい) <input type="checkbox"/> 毛髪 <input checked="" type="checkbox"/> 診療記録
試料・情報の 管理について の責任者	当センター 研究責任者	村上 修司
試料・ 情報を 利用す る者の 範囲	当センターでの実施診療科/部局等	呼吸器内科
	共同研究の場合、共同研究機関および各施設での研究責任者	日本肺癌学会 研究代表者 弦間 昭彦(日本肺癌学会理事長 日本医科大学学長) 光富 徹哉(日本肺癌学会理事 近畿大学医学部呼吸器外科) 研究責任者 吉野 一郎(日本肺癌学会学術委員会委員長 千葉大学大学院医学研究員呼吸器病態外科学)